

TRAFFIC NEWS FLASH

広島県警察本部 交通部交通企画課 令和 7 年No. 22

自転車ヘルメットの着用を

県内では、今年、自転車の関係する交通死亡事故が多発して おり、すでに 9 人の方が亡くなられています。 (令和7年11月5日現在)

特に9人中、7人が高齢者(うち75歳以上が5人)で、 9人全員がヘルメット非着用でした。

自分の命を守るために



- 自転車乗車中死者の、約半数が頭部に致命傷
- 頭部を負傷した死者・重傷者のうち、ヘルメット 非着用の割合は、着用に比べ 約1. 7倍高い



道路交通法により、自転車利用者はヘルメットの着用に努めるよう 定められています。どうか皆様の大切な命を守ってください!





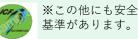
※ 乗車用ヘルメットは、努めてSGマークなどの安全性を示す

マークのついたもの を使いましょう。









※ あごひもを確実に締めるなど、正しく着用しましょう。

交通事故から大切な命を守るために皆様の御協力をお願いします!

発行:広島県警察本部交通部交通企画課

脳を守る

~自転車ヘルメットの着用~

理事長 古謝 由美 元NPO法人日本高次脳機能障害友の会

りにと早朝より自転車で出かけていきました。い平成7年9月15日敬老の日、高校2年16歳の息子は体力作い平成7年9月15日敬老の日、高校2年16歳の息子は体力作まだ、社会に「高次脳機能障害」と言う言葉が知られていな

助かれば良い、また笑顔に会えると、ただただ祈るばかりで助かれば良い、また笑顔に会えると、ただただ祈るばかりで話したばかりなのに意識のない息子を前に医師から説明を受息子の最後の言葉になろうとは夢にも思いませんでした。ら帰るからね、お腹がすいたな。」と、これが健常者としての「行ってらっしゃい、気をつけてね。」と送り出し、夕方「今か

ごとに感じる違和感、何かが違う。命を取り留め、体は徐々に回復してきましたが、日を追う

な壁が待っていました。する息子、復学を望んでも難しく支援学校への転校など様々する息子、復学を望んでも難しく支援学校への転校など様々今まで簡単にできていた事が出来なくなり絶えずイライラこれが頭部外傷による「高次脳機能障害」でした。

そして一言、「ノーヘルは危ないからね」。

レら記こりまった。 また、コミュニケーションが上手くとれず、他者とのトラブなか覚えることが出来ず失敗を繰り返すこともあります。 度に沢山のことを記憶することが難しく仕事の手順などなか 関えば支援学校卒業後、就労することが出来ましたが、一

てきます。

一次の場合、子供との接し方が解らず母親としての対応が主婦の場合、子供との接し方が解らず母親としての対応が主婦の場合、子供との接し方が解らず母親としての対応が主婦の場合、子供との接し方が解らず母親としての対応が主婦の場合、子供との接し方が解らず母親としての対応が主婦の場合、子供との接し方が解らず母親としての対応が

ていくことに疲れてしまうことがあります。人として一番大切な脳の機能が失われると言うことは生きしかし、社会生活を営む中で様々な支障があるのも現状です見た目は健常者の方達と何ら変わりはありません。

はいつもヘルメットをかぶっていきます。 自転車が好きで運動することが好きだった息子は休日の時 自転車が好きで運動することが好きだった息子は休日の時 自転車が好きで運動することが好きだった息子は休日の時